
県立病院ビジョン（素案）

持続可能な、より良い医療のために

令和4年2月

沖縄県病院事業局

県立病院ビジョン検討委員会

目次

第1章 総説

- 1 県立病院ビジョン策定の意義…………… 1
- 2 県立病院ビジョンの性格…………… 1
- 3 県立病院ビジョンの期間…………… 2
- 4 県立病院ビジョンの位置づけ…………… 2

第2章 県立病院の概況

- 1 県立病院及び附属診療所の位置図…………… 3
- 2 県立病院の概要…………… 4
- 3 県立病院の病床数…………… 5
- 4 県立病院の標榜診療科目…………… 6
- 5 県立病院の職員数…………… 7
- 6 病院事業局の収益的収支決算額の推移…………… 9
- 7 病院事業局の主要経営指標の推移…………… 12

第3章 県立病院を取り巻く環境の変化

- 1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大…………… 14
- 2 少子高齢化の進展と医療需要の変化…………… 15
- 3 医療を担う人材の確保に関する状況の変化…………… 16
 - (1) 医師の人材確保に関する状況…………… 16
 - (2) 看護師の人材確保に関する状況…………… 17
 - (3) 薬剤師の人材確保に関する状況…………… 17
 - (4) その他の医療従事者及び事務職の状況…………… 17
- 4 県内医療機関の動向…………… 18
 - (1) 公立沖縄北部医療センターの整備に向けた取組の進展…………… 18
 - (2) 主な県内医療機関の動向…………… 18
- 5 国及び県の医療政策等…………… 19
 - (1) 国及び県の主な医療に関する計画等…………… 19
 - (2) 医療制度に関する改革等…………… 21

第4章 目指すべき将来像

- 分野1 県立病院として必要な医療の提供及び充実…………… 24
- 分野2 県民・患者の視点に立った医療の提供…………… 25
- 分野3 人材の確保・育成及び生き生きと働ける職場づくりの推進…………… 25
- 分野4 安定した経営及び適切な投資…………… 26

第5章 施策の基本方向

- 1 施策の基本方向に沿った取組の全体像…………… 27
- 2 目指すべき将来像ごとの施策の基本方向…………… 28

【分野1 県立病院として必要な医療の提供及び充実】

(1) 県民医療の最後の砦として政策的医療を提供する体制の確保	28
① 離島・へき地医療	28
② 救急医療	30
③ 小児・周産期医療	31
④ 循環器疾患医療	33
⑤ がん医療	35
⑥ 糖尿病医療	36
⑦ 難病医療	37
⑧ 精神科医療	37
(2) 高度・専門的な医療を提供する拠点の整備	38
(3) 離島診療所の医療及び職員に対するサポートの充実	39
(4) 大規模災害や感染症に備えた医療体制の整備	40
① 災害医療	40
② 感染症医療	42
(5) 少子高齢化の進展に対応した医療提供体制の整備	43
(6) 県立病院間及び県内外の医療機関との人事交流等の促進	44
(7) 北部医療圏の医療提供体制の整備	45

【分野2 県民・患者の視点に立った医療の提供】

(1) 県立病院が提供する医療及びサービスに対する満足度の向上	47
(2) 患者やご家族に対する相談支援及び地域医療連携の強化	48
(3) 外国人患者の受入体制の充実	49
(4) 県立病院の広報・情報発信の強化	50

【分野3 人材の確保・育成及び生き生きと働ける職場づくりの推進】

(1) 医療の質の向上及び適正な労働環境の確保等のための人員配置	52
(2) 県立病院の臨床研修医及び専攻医の増加及び定着	53
(3) 体系的・総合的な人材の確保・育成及びキャリア形成支援	54
(4) 働き方改革の推進	55

【分野4 安定した経営及び適切な投資】

(1) 県立病院ビジョン実現に向けた目標の共有及び職員の意識改革	57
(2) 県立病院の経営基盤の強化	58
(3) 経常黒字の達成及び医療の質の向上や業務効率化に必要な投資	59
(4) 電子カルテシステムの統一及び医療機器や業務手順等の標準化	60

第6章 県立病院ビジョンの推進及び進捗管理

1 県立病院ビジョンの推進	62
(1) 県立病院ビジョンの推進体制	62
(2) 県立病院ビジョン実現に向けた施策の展開	62

2 県立病院ビジョンの進捗管理と見直し	62
---------------------	----

参考資料1 県立病院ビジョン策定に関する資料

1 県立病院ビジョン検討委員会設置要綱	63
2 県立病院ビジョン検討委員名簿	65
3 県立病院ビジョン作業部会員名簿	66
4 県立病院ビジョン策定に係るアンケート調査	67
5 検討の経過	68

参考資料2 県立病院ビジョン用語集 69

参考資料3 経営指標の見方 70

第1章 総説

1 県立病院ビジョン策定の意義

沖縄県病院事業局（以下「病院事業局」という。）では、病院事業のあり方に関する根本的な考え方及び実現のための方策を明らかにするため、平成29年4月に「沖縄県病院事業基本理念・基本方針」を策定した。

沖縄県立病院（以下「県立病院」という。）を取り巻く内外の環境が大きく変化する中において、沖縄県病院事業基本理念・基本方針に基づき、県立病院が今後も果たすべき役割等を効果的かつ持続的に担っていくためには、病院事業局の全ての職員が進むべき方向性について認識を共有するとともに、関係機関・団体との連携・分担を行いながら取組を推進していくことが必要となっている。

そこで、10年後の県立病院の目指すべき将来像を定め、将来像実現に向けた施策の基本方向を明らかにするため「県立病院ビジョン」を策定するものとする。

<沖縄県病院事業基本理念・基本方針（平成29年4月17日）>

基本理念	県立病院は、沖縄県の基幹病院、また、地域の中核病院として、救急医療、小児・周産期医療、離島・へき地医療、精神医療等の政策医療を提供するとともに、地域医療の確保に努めます。
基本方針	(1) 県民・患者の視点に立った医療を提供するとともに、医療水準の向上に努めます。 (2) 人材育成を推進し、知識、技術の向上に取り組みます。 (3) 県立病院として必要な医療提供体制を整備するとともに、職員が生き生きと働ける職場を目指します。 (4) 安定した経営を行い、適切な投資が出来るよう努めます。

2 県立病院ビジョンの性格

県立病院ビジョンは、沖縄振興計画、沖縄県医療計画等の関連計画及び沖縄県病院事業基本理念・基本方針を踏まえつつ、沖縄県病院事業の目指すべき将来像及び施策の基本方向を明らかにするものであり、SDGsの達成に寄与する性格をも有するものである。

病院事業局の全ての職員が病院事業運営の指針として意識し、令和13年度までの将来ビジョン実現に向け一丸となって取り組み、心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して、県民に必要とされる医療提供体制の確保及び安定的な病院経営に努めていくべきものである。

3 県立病院ビジョンの期間

県立病院ビジョンの期間は、令和4年度（2022年度）から令和13年度（2031年度）までの10年間とする。

4 県立病院ビジョンの位置づけ

県立病院ビジョンは、沖縄県病院事業の理念（沖縄県病院事業基本理念・基本方針）及びミッション（県立病院の役割及び医療機能）を踏まえ、ビジョン（ミッション実現に向けた目標、方向性）を示すものとして、沖縄県立病院経営計画等の個々の実施計画の上位に位置づけられるものである。

<県立病院ビジョンの位置づけの概念図>

